

2025年(日)

4/13

開場 14:30 / 開演 15:00

会場

山形県郷土館「文翔館」
議場ホール

入場料

7,000円(「とし子の会」会員 6,500円)

とし子の会
松倉とし子後援会

Program

- ・うれしい日曜日
- ・さくら
- ・アメリカンフィーリング
- ・ウィーンわが夢の街
- ・トリッチトラッチポルカ
- ・ラデツキー行進曲
- ・列車に乗ろうよ 他



第15回
松倉とし子

Spring Concert

光よふ春に

こころ躍る歌の祭典 in 文翔館

主催 「とし子の会」 山形支部長 谷口

■お問い合わせ 090-5590-0670



ベイビーブルー

松倉 望

篠崎 仁美

Profile



松倉とし子 (ソプラノ)

オペラ「フィガロの結婚」(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て具える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した「金子みすゞ詩による童謡歌曲集」は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心プログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。東日本大震災以降は「こだまでしょうか」を求める声さがさらに増え続けている。2001年6月にはウィーン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV「金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー」「みんなの童謡」、NHK-FMへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

“「中田喜直・松倉とし子・ボニージャックス」3つの心のハーモニー”コンサートをスタートさせてから、ボニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。

故郷やまがたでは、楽しい話をささみながらのディナーショーや、スイートコンサート、自在なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。また、中田喜直氏とスタートさせた「童謡の日コンサート」は2024年に30回をむかえ、山形市民会館で30回記念スペシャルコンサートを開催。

「第29回日本童謡特別賞」「NHK東北ふるさと賞」「山形県芸術文化協会賞」「山形市政文化功労賞」など受賞多数。2015年1月から毎週日曜日朝、YBCラジオ「松倉とし子うたの花束」がスタート。10年目をむかえ、多くのリスナーに愛され、好評放送中。



ベイビーブー



「声」だけで魅せる唯一無二のコーラス・エンターテイメントグループとして2002年メジャーデビューし20年目を迎えた。

2011年から新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に通い始め、今までに「うたごえ喫茶アルバム」シリーズを「ともしび」監修のもと5作発売。オリジナル曲「花が咲く日は」が「うたごえ喫茶ともしび」の年間リクエストランキングで2年連続で1位を獲得し話題に。また、ボニージャックス、由紀さおり、五木ひろし、川中美幸のコンサートにもゲスト共演し、童謡100周年の2018年からは小田原童謡大使に任命されている。

近年はディズニー映画「ライオンキング」プレミアム吹替え版へのコーラス参加や、TVの音楽番組に多数出演し、「日本武道館で万人の大合唱祭を行う」という目標を掲げ、全国各地でコンサートを開催している。

2022年に最新両A面シングル「別れの曲」「列車にのろうよ」をリリース。

BS朝日「人生、歌がある」毎週土曜19時、NHK R1「らじるラボ」(2020年4月～2022年9月)にレギュラー出演中。

篠崎仁美 (ピアノ)



桐朋学園大学ピアノ科卒業後、ジャズピアニストの父、篠崎哲也の影響を受け、ポピュラーピアニストとしてデビューする。

1984年 クラシックアンサンブルで「蓼科高原音楽祭奨励賞」を受賞。

1987年 「NHK軽音楽オーディション」で自作の曲を弾き語り合格。

1988年 博品館劇場での劇団未来劇場公演でピアニスト兼女優として出演。

1991年 フジテレビ「さんまのあっぱれ大先生」に音楽の先生役で出演。

1996年 第26回「日本童謡賞特別賞」受賞。

2015年10月 自身のプロデュースによるニューアルバム「仁美のララバイ」を発表。

現在、歌って喋れるピアニストとして多彩に活躍中。繊細でダイナミックな演奏で聴衆を魅了する。

その多彩な活動は異色のエンターテイナーとして脚光を浴びている。

松倉望 (バリトン)



山形市出身。山形県立山形東高等学校卒業。山形大学人文学部法経政策学科法律コースを経て、同大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻音楽芸術コース修了。

3歳からコンサートステージに立ち、童謡と日本歌曲を中心に演奏を重ねる。11歳で「母と子の思い出」(キングレコード)を制作。ボーイソプラノからバリトンへ変声し、山形テルサホール開催の「童謡の日コンサート」に出演。山形交響楽団の演奏で、松倉とし子、ボニージャックスと共演。現在、山形県民共済主催による、山形県内の保育園・幼稚園の子供たちへのコンサートに数多く出演し、「山形に根付いた童謡を愛する心」を文化の一つとして県内に広める活動に参加している。近年はクラシックを中心に研鑽を重ねており、これまでに「ドン・ジョヴァンニ」表題役、「コジ・ファン・トッテ」グリエルモ、「アマールと夜の訪問者」メルキオール王など、山形県内外でオペラ公演等に出演しつつ、自らも演奏会を多数企画・出演している。

声楽を鈴木集、藤野祐一、深瀬廉の各氏に師事。木村善明、佐藤美枝子、小森輝彦の各氏に指導を受ける。